

発行

京都教育大学同窓会

発行責任者

会長 高向 健次

京都教育大学

同窓会だより

事務局

〒612-8522

京都市伏見区深草藤森町1
京都教育大学内

TEL 075-644-8353

FAX

メールアドレス
dosokai@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学同窓会 令和5年度 定期総会



京都教育大学創立一五〇周年を目前にして

京都教育大学同窓会会長 高向 健次



お蔭をもちまして七月の「定期総会・懇親会」は一二五名の方々の参加が得られ盛大に開催することができました。ありがとうございます。心から御礼申し上げます。

さて、我が京都教育大学は三年後の令和八年に創立一五〇周年を迎えます。この年の「定期総会・懇親会」にはより多くの会員の皆様方にご参加いただいております。

ところが、卒業生の「同窓会」離れの問題を改善しなければ、その実現は叶いません。卒業生の中には「同窓会」組織そのものの存在をご存じない方もおられると聞きます。また、出身学科や専攻を基礎単位として組織する「卒業生の会」とか、学生時代に所属したクラブやサークルなど世代を超えた結びつきで組織する「卒業生の会」には所属しているが、全学の卒業生を構成員とする「同窓会」には入会していないという方もおられるようです。

まずは、このような方々に私たち「同窓会」の活動を理解していただき入会をお願いしていかなければなりません。

せん。これまでから「ワン・ツー運動」と称して、一人の会員が未加入の卒業生二人以上に入会してもらおうという運動を推進してきました。ところが、その運動も未だ広がりが見られず成果が十分に上がっているとは言えない状況にあります。この上は、すべての会員の皆様にも、この「ワン・ツー運動」に協力していただき、お知り合いの卒業生で未加入の方々に入会を勧めていただくよう切望いたします。

母校の創立一五〇周年とともに祝うためにも、何卒、同窓会組織拡充にご協力をお願いいたします。

今号の内容

- ① 会長挨拶
- ② 定期総会
- ③ 予算・決算・組織事業計画
- ④ 専攻代表者会
- ⑤ 学び舎
- ⑥ 随想
- ⑦ 創る
- ⑧ キャンパスライフ
- ⑨ アートフォーラム
- ⑩ 紫郊体育会
- ⑪ 頑張ってます
- ⑫ 特別寄稿
- ⑬ 旧友交歓
- ⑭ 行事・編集後記
- ⑮
- ⑯
- ⑰

定期総会

定期総会祝辞

京都教育大学学長

太田 耕人



同窓会の本部が大学構内に移りましてから、もう一〇年近く、お互いに顔も考

え方も分かるようになって、最近では、一緒に色々なお仕事ができるような環境が醸成されてきたと思っております。

大学は、第四期中期目標期間というものが始まりまして、順調に計画も達成できておりますし、昨年度からは、教職大学院に教科教育を取り込んだ新しい教職教育大学院が一〇大学の連合でスタートいたしました。また、昨年からは学びサポーター室というものを設置いたしました。小学校や中学校の、いわゆる通常学級で特別な配慮を必要とするお子様が非常に増えています。本学としては、現場でそういう子どもたちに対応される先生に何らかのサポートができないかということ、文科省に概算要求をしまして、四人も人をつけていただきました。これを発展させまして、京都教育大というのは、どんな子どもにも、平等に教育が行き渡るような理想を追い求めている大学だということ世間に知っていただきたいと考えております。

一方、学生は、真面目で伸びやかに学んでおりますけれども、随分不安も

抱えています。不安の原因は大きく三つあると思います。

一つ目は、昨今言われている教育現場はブラックだという評判でございます。最近の学生は、「ブラックだけでなく先生になります」と、ブラックというのが前提条件になっております。それでも子どもたちは可愛い、教えることにやりがいを感じるということ、以前と変わらずおよそ七割の学生が教員になっております。後の三割は、教育委員会を含めました地方自治体に一割ほど、二割が企業ですが、その企業も教育産業が増えています。また、入試の方も、教員がブラックだと言われている中で、倍率は下がらずにずっと三倍以上を維持しております。

二つ目は、非常に時代の流れが速く、特に最近のAIに代表されるようなデジタル化が急速に進行していることです。これについていけるのか、当然子どもたちも、チャットGPTのようなものも使いますので、そういう中でどんな教育をしていくのか、こういうことにも不安を覚えているようです。

三つ目は、経済が沈滞をしていることです。今の学生たちは、非常に冷めているし、それから安定指向でもあると思います。そういう学生たちにとにかくいい先生になってもらいたいという大学は努力をしている訳ですが、そういう時に、コロナ禍が襲いまして、本学も非常な打撃を受けました。コロナの問題で一番大きかったのは、アルバイトが枯渇したことございます。そういう時に、同窓会が奨学金というものを作ってくださいました。同窓会の先輩たちがこういう風に自分たちを気にかけてくれている、見守ってくれてい

ると感じることで、とても友好的な親和的な雰囲気の中で、学生たちは、この世の中を過ごすことができるものだと思います。これは本当に何ものにもかけがえのないご支援だったと思っております。学生が、これからも同窓会に続けて入ってくださるように願っております。

皆さんのこれからのますますのご発展もお祈りしますし、是非、本学と本学の学生のことも、引き続きお気にかけてくださることをお願いいたします。ご挨拶いたします。

京都府知事

西脇 隆俊

(代読 大路 達夫)



京都教育大学同窓会の令和五年度総会が、多くの皆様のご出席のもと、盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。

貴同窓会におかれましては、京都府師範学校同窓会として明治四二年に発足し、以来一四四年もの長きに渡り、会員の資質向上を目的とした研修や親睦を図る活動を継続され、さらには、今年二月に実施された「あつたかトークシヨップ」など同窓生と在学生との絆づくりを図る取組を通して、母校の進展に大きく寄与してこられました。高向会長をはじめ、役員の皆様並びに

会員の皆様の御尽力に対し、心から敬意を表します。

まもなく創立一五〇年を迎える長い歴史と伝統を誇る京都教育大学は、いつの時代も最先端の学術的知見を得て、それを机上の知識に終わらせず、教育現場でしなやかに展開できる教育者を育成してこられました。

日々、卒業生の皆さんが、府内一円の教育現場において大学で培われた力を遺憾なく発揮されており、毎年優秀な人材を京都府に輩出していただいておりますことに、この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

さて我が国では、近年自然災害の頻発化・激甚化による被害が増加し、また、新型コロナウイルスの猛威による影響を受け、社会全体が疲弊を余儀なくされ、さらにはロシアのウクライナ侵攻などによる世界的な物価高、記録的な円高に見舞われ、我々の生活にも甚大な影響が出ております。

京都府では、こうした歴史的な社会の転換期を迎えている中で、府民誰もが、安心して豊かに暮らし、将来に向かって夢を抱くことができるよう、「安心」「ぬくもり」「ゆめ実現」の三つの視点に基づく「あたたかい京都づくり」を進めていくことと決意し、府政運営の羅針盤となる総合計画を一年前倒しして改訂しました。

この計画において、安心して子どもを産み育て、学びやすい環境づくりを進めることができる地域づくりとして、「子育て環境日本一・京都の実現」を掲げ、社会総がかりで子どもを育てる取組を進め、子どもたちが「包み込まれている」という感覚が実感でき、一人一人が能力や個性を伸ばして新たな



令和5年度

時代に対応できる、魅力ある教育環境を実現したいと考えております。

今後とも京都の子どもたちが、未来の創り手として必要な資質・能力を身につけることができますよう、京都教育大学に関係の皆様をはじめ、市町村や関係団体とともに「オール京都」で取り組んでまいりますので、引き続き、皆様の御支援、御協力ををお願い申し上げます。

結びにあたり、京都教育大学同窓会の益々の御発展と、本日御参集の皆様への御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

京都市長

(代読) 門川 大作
大黒 喜裕



本日、京都教育大学同窓会令和5年度総会が盛大に開催されますことを、心か

らお喜び申し上げます。

貴会は、明治四十二年に発足して以来、一〇〇年を超える長きに渡り、会員同士の交流や「講演会」を通しての資質向上、また大学の教育研究や人材育成を支援する活動を続けておられます。例年多くの京都教育大学卒業生が本市教員採用試験に合格し、若手から管理職まで幅広く、学校現場の核として活躍されておりますが、そういった教職員を支えておられる皆様の取組に、

改めて深く感謝申し上げます。

皆様のご尽力もあり、文部科学省の「全国学力・学習状況調査」において、本市は小学校が政令指定都市で二年連続一位になるなど、全国トップレベルの魅力ある教育環境を形成していることですが、引き続き、教育・子育て支援の充実を市政の重要課題のうちの一つと位置づけ、今後とも、社会全体で子どもたちを守り育てる機運を更に高め、「京都で学んでよかった」「京都で子育てしてよかった」と、実感していただける街づくりに全力を尽くしてまいります。

皆様には、各方面で引き続き多大なるお力添えをお願いするとともに、貴会が後進育成の「語り場」となり、協働体験の中で専門性を高め、教育人材が育成される素晴らしい場となることを願っております。

結びに、京都教育大学同窓会会員の皆様の御健勝と御多幸、並びに京都教育大学の更なる御発展を祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



京都市長

門川 大作



師範学校からの伝統を引き継ぎ、京都教育大学の同窓会が、教育先進都市京都

を支え続け、牽引してきていただいております。心から敬意を表し、感謝申し上げます。

今日、塔南高校が洛陽高校の跡地に開建高校として校舎が竣工しました。校舎も素晴らしいんですけれども、生徒が生き生きしてるとです。問いから始まる学び、対話を重視した学び、さらに個に応じた学び。学びたいこと、知りたいことを学ぶ、そして、生徒が夢中になる学校にしようというコンセプトの元に取り組みされました。市立高校改革を進めてきました。塔南高校の六〇年の歴史が、あらゆる京都市の教育改革のスタートだったと思いますし、洛陽高校は、日本で最初にできた工業高校で、その跡地に塔南高校を持つていつて、開建という平安京の頃の坊名をつけていただきました。塔南から始まりずっと市立高校全体が改革されてきて、その総仕上げとしての開建高校でありました。新しいタイプの普通科というところで、文科省のパイロット校にも指定され、先生方も生徒と一緒に頑張るってやらなあかんという思いを感じます。

そして、小中学校も頑張っていただきまして、市立小学校、連続して二〇の政令指定都市で学力一番という結果です。中学校も、二割以上私学に行くというもとで、全国の四七都道府県で見ますと九割ぐらいですか、二割の私学にいった人除いてということですか、頑張るって頂いているなと思えます。中央教育審議会、荒瀬克己先生が会長になられました。現場で教育実践をしてきた人が会長になるなんて初めてです。もちろん教育大学出身の方であります。このように日本の教育が変わ

ろうとしている時に、京都教育大学の同窓生が、あらゆる場面で頑張ってくださいとおる、そのおかげだなと思っております。

しかし、これからが大事であります。例えば、いじめとか不登校とか親の虐待問題など様々な問題があります。そうした問題に取り組んでいかなければならないですし、学校現場がブラックだと後継の育ちもままならないということ、働き方改革についても、先生方が頑張っていたらいいけれども、感謝申し上げたいと思っております。教師を志す人をいかに増やして行くか、去年が六・〇倍、今年が五・九倍というところで、全国のことを思ったら、非常に競争率は高いところを維持しています。今、国で成長戦略、あるいは働き方改革、異次元の少子化対策等々やられていきますけれども、最大の成長戦略は、子どもの学び育ち、教育だと思えます。

この間、コロナ禍と財政危機ということでご心配をおかけしました。あらゆる改革を徹底してやってきました。本年度予算で収支均衡を達成することができました。前年度の決算、おかげをさらにしっかりと、教育を含め未来に投資していきたいと考えております。引き続きの御指導、改めてよろしくお願いたします。

*紙面の都合上、内容の一部を省略させていただきます。

令和5年度 事業計画

1 定期総会 令和5年7月8日(土)

於 ホテルオークラ京都

2 本同窓会の課題：同窓会の活性化を図る

- (1) 組織の充実
- (2) 会員増を図る取組
- (3) 事業の充実
- (4) 入学時入会制に伴う会員定着化のための取組
- (5) 大学との連携充実
令和8年の大学創立150周年に向けた取組

3 委員会活動

- (1) 組織委員会
 - ① 会員増の取組
 - 「1-2 (ワン・ツー) 運動」の推進
 - 京都府内公立学校・園の本学卒業生管理職の入会勧誘
 - ② 支部長会・幹事会の開催
 - ③ 学生会員の組織化及び卒業後の対応
- (2) 学生サポート委員会(旧「大学連携委員会」)
 - ① 専攻代表の選出
 - ② 専攻代表者会の運営
 - ③ 第12回「あったかトークショップ」の開催

④ 学生サポート事業の創出(新規)

⑤ 大学(学生課・教務課)との連携・調整

(3) 広報委員会

- ① 「同窓会だより」93号(R5. 4. 15)・94号(R5. 10. 15)の発行、95号(R6. 4. 15)の編集
- ② ホームページの運用と周知

(4) 会員活動委員会

- ① 「第24回 写真展」R5. 11. 10(金)~13(月)
(藤陵祭期間中)
- ② 「第10回 いいとも講演会」R5. 11. 11(土)
- ③ 「第57回 囲碁大会」R5. 10. 7

(5) 財務委員会

- ① 財政安定化への取組
 - 合格者への入会案内(入学時入会のお願ひ)
 - 未加入管理職に入会勧誘…組織委員会との連携
- ② 大学・学生への支援
 - 同窓会奨学金、学園祭支援、新入生歓迎会補助、卒業記念品
 - 「それはかなう夢講座」の後援
- ③ 支部事業への財政的援助
活動に対する補助金

専攻代表者会の活動

専攻代表者会を担当していた「大学連携委員会」は、今年度から「学生サポート委員会」に名称が変わりました。それに伴って、教職を目指す学生を中心にこれまで以上に学生をサポートしたいと考え、取り組んでいるのが「専攻代表者会…第二部」です。

「二部に初めて参加しましたが、同回生や先輩の話、委員会の皆様の経験豊富なお話を聞くことができ、とても楽しい時間を過ごすことができました」今年度最初の合同専攻代表者会の日に向けた2回生専攻代表からのうれしいメールです。

案件の決まった全員参加の「第一部」と違って、自由参加の「第二部」にテーマはありません。参加した専攻代表や同窓会理事の関心事から話題は広がります。「京大を選んだのは」「卒業後の希望は」「ブラック」と言われながらも教職を目指すのは」「バイトの苦労や、やりがいは」「留学したいが」「ICT活用の実際は」「等々。回生、専攻、さらには世代を超えた交流の場から、新たな「学生サポート事業」が生まれることを願っています。

同窓会HP用QRコード



同窓会のホームページ用のQRコードを作りました。スマホで読み取っていただくと、同窓会のホームページを見ることが出来ます。どうぞご利用ください。

詳細は、四月中旬ごろ同窓会だよりとHPに掲載します。

来年度総会は七月七日(日) ホテルオークラ京都

令和5年度 第24回 写真展要項

開催日時：令和5年11月10日(金)～13日(月) 10時～16時(13日は15時まで)
 教育大学の学園祭(藤陵祭)の実施日に合わせて計画
 開催場所：京都教育大学附属図書館 1階企画展示室

—— 作品募集要項 ——

- ①作品出展資格 京都教育大学関係者・写友(一般写真愛好家)
 - ②出展作品 一人2点以内(写題は自由) *天地が判るように裏に表示
 四つ切りまたはA4版(ワイドは不可)額は当方で用意します。
 - ③申し込みと問い合わせ先
 - ・10月20日(金)までに「申し込みはがき」に必要事項を記入し、切手を貼って同窓会事務局まで郵送してください。
 - 京都教育大学同窓会事務局
 〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町1
 Tel・Fax：075-644-8353 mail：dosokai@kyokyo-u.ac.jp
 - ・「申し込みはがき」が必要な方は、同窓会事務局まで連絡してください。
 - ④勉強会 11月13日(月) 13時～15時
 - ・場所：写真展会場 講師：大西功氏(日本風景写真協会会員)
 - ⑤作品の送付及び返却
 - ・送付日 11月2日(木)までに、同窓会事務局に持参、郵送、宅配で
 - ・返却日 11月13日(月)勉強会終了後、持ち帰り又は郵送、宅配にて返却
 - ・作品を直接事務局へ持参の場合は、あらかじめ事務局へお電話をください。
- ★第24回写真展 学生のみなさんも、是非、ご参加ください！
 ・スマホの部を新設します(詳細はHPをご覧ください)。

第10回 いいとも講演会のご案内

令和5年11月11日(土) 13:30～15:00
 場所：京都教育大学
 講師：赤松大輔先生(教育学科講師)
 演題：「見えない『ころ』をとらえる心理学」



「覚えたはずなのに思い出せない」「見えているはずのものに気づかない」など、人の「認識」つまり「ころ」にかかわる問題は、皆さんの生活の多くの場面で現れます。この講演会では、心理学の観点からこうした人の「ころ」の不正確さについて、様々な体験活動を取り入れながら解説を行います。

編集後記

昨年度再開した定期総会でしたが、今年度は懇親会も含めて一二五名という多くの参加者が集い盛会に終わりました。コロナ禍で余儀なく中断しながらも、以前と変わらず開催できたのは、同窓生としての絆の証であり、運営する人々の努力の賜物です。時代を越えて旧交を深める場として続くこの会が、三年後の大学創立一五〇周年に向けてさらに発展していくように願うばかりです。

今号の旧友交歓のページに、三〇数年ぶりに開催された同期会の原稿を寄せていただきました。仲間と共に昔を振り返り当時を懐かしむ時間を共有された喜びや、今後さらに続いていくご縁が伝わってきました。

卒業式の日、同窓会本部から、進む道はそれぞれ違っても同じ大学で学んだことを大事にして、是非同期会をしてくださいと伝えていきます。年に一度の定期総会を縦糸に、同期会を横糸に、同窓会が益々広がりを織りなしていきますように願っています。

広報委員会は、その一助となるよう、ホームページでの情報提供や同窓会だよりでの紙面充実を図っていきます。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

《編集委員》

- 走井 徳彦 山本 早苗
- 飯田 一輝 谷 早苗
- 中東 朋子 綿越 貴久